

日商簿記1級
講師が選んだ過去問題集

答案用紙

問1

(単位：千円)

①	②	③	④	⑤

問2

本支店合併損益計算書

自 20X6 年 4 月 1 日 至 20X7 年 3 月 31 日 (単位：千円)

I 売	上	高	()	
II 売	上	原 価		
1 期	首	商 品 棚 卸 高	()	
2 当	期	商 品 仕 入 高	()	
	合	計	()	
3 期	末	商 品 棚 卸 高	()	
	差	引	()	
4 棚	卸	減 耗 損	()	
5 商	品	評 価 損	()	()
	売 上	総 利 益		()
III 販	売 費	及 び 一 般 管 理 費		
1 営	業	費	()	
2 貸	倒 引 当 金	繰 入	()	
3 減	価 償 却	費	()	
4 退	職 給 付	費 用	()	()
	営 業	利 益		()
IV 営	業	外 収 益		
1 受	取	利 息	()	
2 有	価 証 券	利 息	()	
3 受	取	家 賃	()	()
V 営	業	外 費 用		
1 ()			()	
2 為	替	差 損	()	()
	経 常	利 益		()
VI 特	別	利 益		
1 固	定 資 産	売 却 益		2,970
VII 特	別	損 失		
1 投	資 有 価 証 券	評 価 損	()	
	税 引 前 当 期 純 利 益		()	
	法人税、住民税及び事業税			274,000
	当 期 純 利 益		()	()

問3

(単位：千円)

売掛金 (貸倒引当金控除前)	満期保有目的債券	その他有価証券	建物減価償却累計額	繰越利益剰余金

第1回 会計学／159回

問題 P.5 解答解説 P.60

第1問

1	2	3	4

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

(ケ)	(コ)	(サ)	(シ)

損 益 計 算 書

(単位：千円)

商 品 売 上 原 価 ()	商 品 売 上 高 ()
役 務 原 価 ()	役 務 収 益 ()
商品保証引当金繰入額 ()	受 取 利 息 配 当 金 ()
販 売 費 ()	投資有価証券売却益 ()
貸倒引当金繰入額 ()	
一 般 管 理 費 ()	
減 価 償 却 費 ()	
ソフトウェア償却額 ()	
退 職 給 付 費 用 ()	
支 払 リ ー ス 料 ()	
支 払 利 息 25,000	
関係会社株式評価損 ()	
法人税、住民税及び事業税 ()	
法 人 税 等 調 整 額 ()	
当 期 純 利 益 ()	
()	()

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

現 金 預 金 ()	買 掛 金 585,000
売 掛 金 ()	契 約 負 債 ()
貸 倒 引 当 金 ()	短 期 借 入 金 ()
商 品 ()	商品保証引当金 ()
前 払 費 用 ()	未 払 法 人 税 等 ()
建 物 1,500,000	未 払 費 用 ()
建物減価償却累計額 ()	長 期 借 入 金 1,000,000
土 地 1,089,900	退 職 給 付 引 当 金 ()
ソ フ ト ウ ェ ア ()	資 本 金 1,000,000
投 資 有 価 証 券 ()	資 本 準 備 金 200,000
関 係 会 社 株 式 ()	利 益 準 備 金 ()
破 産 更 生 債 権 等 ()	繰 越 利 益 剰 余 金 ()
繰 延 税 金 資 産 ()	その他有価証券評価差額金 ()
()	()

(注) 金額がマイナスの場合、△を付しなさい。

第1問
問1

損益計算書（一部）				(単位：千円)	
		20X2 年度	20X3 年度		
		(20X2 年 4 月 1 日～ 20X3 年 3 月 31 日)	(20X3 年 4 月 1 日～ 20X4 年 3 月 31 日)		
売	上	高	3,314,000	()	
売	上	原 価			
	期首商品棚卸高	()		()	
	当期商品仕入高	()		()	
	合 計	()		()	
	期末商品棚卸高	()	()	()	()
売	上	総 利 益	()	()	
販売費及び一般管理費					
	減 価 償 却 費	()		()	
営	業	利 益	()	()	

問2

(1)	20X2 年度期首における会計方針の変更による累積的影響額	千円
(2)	20X2 年度期首における過去の誤謬の訂正による累積的影響額	千円
(3)	20X2 年度における遡及処理後の当期純損益	千円
(4)	20X3 年度における繰越利益剰余金の期末残高	千円

第2問

問 次の各項目の金額を求めなさい。

- ① A 社株式取得時における A 社株式取得額に含まれるのれんの金額

千円
- ② 20X8 年 3 月末の連結貸借対照表に計上される A 社株式の金額

千円
- ③ 20X7 年度の連結損益計算書に計上される持分法による投資損益の金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

借・貸 千円
- ④ 20X9 年 3 月末の連結貸借対照表に計上される B 社株式の金額

千円
- ⑤ 20X8 年度において、[資料Ⅱ] の3. に関連して P 社と A 社との取引により売上高に加減する金額
(解答欄の借または貸のいずれかに○を付すこと)

借・貸 千円

問1

貸借対照表		20X6年3月31日		(単位：千円)	
日商株式会社					
(資産の部)		(負債の部)			
I 流動資産		I 流動負債			
現金及び預金	()	支払手形		75,500	
受取手形	()	買掛金	()		
貸倒引当金	()	未払金	()		
売掛金	()	未払費用	()		
貸倒引当金	()	未払法人税等	()		
商品	()	返金負債	()		
返品資産	()	契約負債	()		
前払費用	()	保証債務	()		
流動資産合計	()	車両購入手形	()		
II 固定資産		流動負債合計	()		
有形固定資産		II 固定負債			
建物	1,500,000	車両購入手形	()		
減価償却累計額	()	固定負債合計	()		
備品	()	負債合計	()		
減価償却累計額	()			(純資産の部)	
車両運搬具	()	I 株主資本			
減価償却累計額	()	資本金		2,460,000	
土地	2,369,000	資本剰余金			
有形固定資産合計	()	資本準備金	()		
投資その他の資産		資本剰余金合計	()		
長期貸付金	1,000,000	利益剰余金			
長期前払費用	()	利益準備金	()		
投資その他の資産合計	()	その他利益剰余金			
固定資産合計	()	繰越利益剰余金	()		
		利益剰余金合計	()		
		株主資本合計	()		
		純資産合計	()		
		負債純資産合計	()		
資産合計	()				

問2

(1)	%	(2)	千円	(3)	千円
(4)	千円	(5)	千円		

第1問

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

第2問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)

(サ)	(シ)	(ス)	(セ)	(ソ)

問1

損益計算書		(単位：千円)	
売上高		営業外収益	
商品販売 ()		受取賃貸料	32,400
ソフトウェア開発 ()		受取配当金	8,300
売上高合計 ()		有価証券利息 ()	
売上原価		為替差益 ()	
商品販売 ()		営業外収益合計 ()	
ソフトウェア開発 ()		営業外費用	
売上原価合計 ()		減価償却費 ()	
売上総利益 ()		支払利息	8,000
販売費及び一般管理費		営業外費用合計 ()	
貸倒引当金繰入額 ()		経常利益 ()	
給料手当	20,000	特別損失	
退職給付費用 ()		減損損失 ()	
減価償却費 ()		特別損失合計 ()	
ソフトウェア償却費 ()		税引前当期純利益 ()	
研究開発費 ()		法人税、住民税及び事業税 ()	
一般管理費 ()		法人税等調整額 ()	
販売費及び一般管理費合計 ()		法人税等合計 ()	
営業利益 ()		当期純利益 ()	

問2 (単位：千円)

返品資産 ()
受注損失引当金 ()
退職給付引当金 ()
利益準備金 ()
繰越利益剰余金 ()

第1問

	I 欄 下線部の語句の記号	II 欄 正しいと思われる語句または文章
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

第2問

問1

(単位：千円)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問2

(単位：千円)

(1)	日本商工株式会社の個別損益計算書における当期純利益	
(2)	S2社の個別損益計算書における円換算後の当期純利益	
(3)	連結包括利益計算書におけるその他有価証券評価差額金 (税効果控除後)	
(4)	連結包括利益計算書における為替換算調整勘定	
(5)	S1社の連結に係る非支配株主持分当期変動額	
(6)	S2社の連結に係る非支配株主持分当期変動額	
(7)	S2社の連結に係るのれんの期末残高	
(8)	S2社株式の一部売却に伴う資本剰余金当期変動額 (税引後)	
(9)	連結損益計算書における当期純利益	
(10)	親会社株主に係る包括利益	

問1 20X6年度における損益計算書を作成しなさい。

損 益 計 算 書

自 20X6 年 4 月 1 日 至 20X7 年 3 月 31 日

(単位：千円)

I 売 上 高	()
II 売 上 原 価		
1 商 品 期 首 棚 卸 高	()
2 当 期 商 品 仕 入 高	()
合 計	()
3 商 品 期 末 棚 卸 高	()
差 引	()
4 棚 卸 減 耗 損	()
売上総利益	()
III 販売費及び一般管理費		
1 販 売 費	()
2 一 般 管 理 費	()
3 退 職 給 付 費 用	()
4 貸 倒 引 当 金 繰 入	()
5 減 価 償 却 費	()
6 資 産 除 去 債 務 利 息 費 用	()
営業利益	()
IV 営 業 外 収 益		
1 有 価 証 券 評 価 益	()
2 為 替 差 益	()
3 受 取 利 息	4,687	(
V 営 業 外 費 用		
1 手 形 売 却 損	87	
2 社 債 利 息	()
経常利益	()
VI 特 別 利 益		
1 社 債 買 入 消 却 益	()
2 固 定 資 産 売 却 益	500	(
税引前当期純利益	()
法人税、住民税及び事業税	()
当 期 純 利 益	()

問2 20X6年度の貸借対照表における次の(1)～(5)の金額を求めなさい。

(単位：千円)

(1) 買 掛 金	(2) 契 約 負 債	(3) 資 産 除 去 債 務	(4) 社 債	(5) 繰越利益剰余金

問題 1

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

(オ)	(カ)	(キ)	(ク)

問題 2

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本				その他の 包括利益 累計額	非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
当 期 首 残 高							
当 期 変 動 額							
株 式 の 発 行							
剰余金の配当							
親会社株主に帰属 する当期純利益							
自己株式の処分							
子会社株式の売却 による持分の増減額							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計							
当 期 末 残 高							

※ 負数（借方金額）については、△を付しなさい。

※ 空欄とすべき箇所については、「－」などを付す必要はなく、空欄のままとしなさい。

問1

損 益 計 算 書			
(単位：千円)			
売 上 高	()	営 業 外 収 益	
売 上 原 価	()	受 取 配 当 金	4,000
売上総利益(損失)※	()	営 業 外 収 益 合 計	4,000
販売費及び一般管理費		営 業 外 費 用	
販 売 費	14,000	支 払 利 息	2,000
支 払 手 数 料	()	営 業 外 費 用 合 計	2,000
貸倒引当金繰入額	()	経常利益(損失)※	()
給 料 手 当	35,000	特 別 利 益	
減 価 償 却 費	()	投資有価証券売却益	()
ソフトウェア償却費	()	特 別 利 益 合 計	()
退 職 給 付 費 用	()	特 別 損 失	
株 式 報 酬 費 用	()	減 損 損 失	()
一 般 管 理 費	()	特 別 損 失 合 計	()
販売費及び一般管理費合計	()	税引前当期純利益(損失)※	()
営 業 利 益 (損 失) ※	()	法人税、住民税及び事業税	()
		当 期 純 利 益 (損 失) ※	()

※ 各項目が損失の場合は、金額に△を付しなさい。

問2 (単位：千円)

資産グループの使用価値 ()

問3 (単位：千円)

棚 卸 資 産	()	土 地	()
の れ ん	()	資 本 剰 余 金	()
利 益 剰 余 金	()	非 支 配 株 主 持 分	()
売 上 高	()	売 上 原 価	()
その他の包括利益	()		

第6回 会計学／167回

問題 P.36 解答解説 P.117

問題 (25点)

第1問

(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)

第2問

問1	千円
問2	千円
問3	円
問4	円

第3問

問1

(単位：千円)

(1)		(2)		(3)	
(4)		(5)		(6)	

問2

(単位：千円)

(1)		(2)		(3)	
-----	--	-----	--	-----	--

問題

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	()	買掛金	25,000
売掛金	()	返金負債	()
貸倒引当金	()	1年内返済予定の社債	()
商品	()	未払法人税等	()
固定資産		未払費用	()
有形固定資産		固定負債	
建物	()	社債	()
備品	()	退職給付引当金	()
土地	47,550	純資産の部	
無形固定資産		株主資本	
ソフトウェア	()	資本金	60,000
投資その他の資産		資本準備金	60,000
投資有価証券	()	繰越利益剰余金	()
繰延税金資産	()	()	()
差入保証金	10,000	評価・換算差額等	
貸倒引当金	()	その他有価証券評価差額金	()
	()		()

損 益 計 算 書

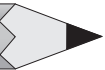
(単位：千円)

売上高	()
売上原価	()
売上総利益	()
販売費及び一般管理費	()
営業利益	()
営業外収益	
受取配当金	2,800
営業外費用	
社債利息	()
貸倒引当金繰入額	()
支払手数料	()
税引前当期純利益	()
法人税、住民税及び事業税	()
法人税等調整額	()
当期純利益	()

販売費及び一般管理費の内訳表

(単位：千円)

営業費	59,350
見本費	()
貸倒引当金繰入額	()
減価償却費	()
ソフトウェア償却額	()
退職給付費用	()



第1問

1	2	3	4

第2問

連結貸借対照表

(単位：千円)

資 産	20X1 年度	20X2 年度	20X3 年度	負債・純資産	20X1 年度	20X2 年度	20X3 年度
諸 資 産				諸 負 債			
関連会社株式				資 本 金			
の れ ん				資本剰余金			
				利益剰余金			
				非支配株主持分			

問1 損益計算書を完成しなさい。

損 益 計 算 書

自 20X5 年 4 月 1 日 至 20X6 年 3 月 31 日

(単位：千円)

I 売 上 高	()	
II 売 上 原 価		
1. 商 品 期 首 棚 卸 高	()	
2. 当 期 商 品 仕 入 高	()	
合 計	()	
3. 商 品 期 末 棚 卸 高	()	()
売 上 総 利 益	()	()
III 販売費及び一般管理費		
1. 販 売 費	227,745	
2. 一 般 管 理 費	150,400	
3. 租 税 公 課	2,910	
4. 貸 倒 損 失	()	
5. 貸 倒 引 当 金 繰 入	()	
6. 減 価 償 却 費	()	
7. 資産除去債務利息費用	()	
8. 商品保証引当金繰入	()	()
営 業 利 益	()	()
IV 営 業 外 収 益		
1. 有 価 証 券 評 価 損 益	()	
2. 受 取 利 息	()	
3. 受 取 配 当 金	()	
V 営 業 外 費 用		
1. 為 替 差 損	()	
2. 社 債 利 息	()	()
経 常 利 益	()	()
VI 特 別 損 失		
1. 固 定 資 産 売 却 損		4,600
税 引 前 当 期 純 利 益	()	()
法人税、住民税及び事業税	()	()
当 期 純 利 益	()	()

問2 20X5年度の貸借対照表における次の(1)～(5)の金額を求めなさい。

(単位：千円)

(1)貸倒引当金(総額)	(2)社 債	(3)資 本 準 備 金	(4)圧 縮 積 立 金	(5)その他有価証券評価差額金

第8回 会計学／170回

問題 P.49 解答解説 P.135

第1問

1	2	3	4

第2問

(単位：千円)

	資産A	資産B	資産C	資産D	のれん
減損損失					
帳簿価額					

第3問

注1 解答は百万円単位で行い、仮に百万円未満の端数が生じた場合は四捨五入して百万円単位で答えること。

注2 該当がない項目には0を記入すること（斜線が入っている項目は解答する必要はない）。

問1

	第1期	第2期	第3期	第4期
①契約資産				
②顧客との契約から生じた債権				
③契約負債				
④工事収益				
⑤工事原価				

問2

	第1期	第2期	第3期	第4期
①工事収益				
②工事原価				

問3

	第1期	第2期	第3期	第4期
①工事収益				
②工事原価				

		金 額
(1)	原料B当月購入単価	千円
(2)	原料A当月消費額	千円
(3)	第1工程加工費配賦額	千円
(4)	第2工程加工費実際発生額	千円
(5)	第1工程完成品原価（原料費）	千円
	第1工程完成品原価（加工費）	千円
(6)	第2工程月初仕掛品原価（前工程費）	千円
	第2工程月初仕掛品原価（加工費）	千円
(7)	第2工程完成品原価（原料費）	千円
	第2工程完成品原価（加工費）	千円

第1回 原価計算／101回

問題 P.144 解答解説 P.186

問1

問2

製品Xの生産量 = 個

製品Yの生産量 = 個

問3

(1) 製品Xの生産量 = 個

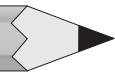
製品Yの生産量 = 個

- (2) 低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、 円だけ
 { 有利である。
 { 不利である。
 (いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

問4

- (1) 臨時の注文 200 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ
 { 有利である。
 { 不利である。
 (いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)

- (2) 臨時の注文 300 個を引き受けた方が、引き受けない場合に比べて、 円だけ
 { 有利である。
 { 不利である。
 (いずれか適切な方を○で囲み、不要な文字を消しなさい。)



問1

材料仕入高 () 円

材料消費高 () 円

問2

正常仕損費 () 円

問3

- ① (活動基準原価計算 直接原価計算 標準原価計算)
- ② (資源ドライバー 活動ドライバー 資源の流れ 活動の流れ)
- ③ (資源ドライバー 活動ドライバー 資源の流れ 活動の流れ)
- ④ (原価要素 原価部門 原価計算対象 活動)
- ⑤ (コスト・センター コスト・ビヘイビア コスト・ドライバー コストの流れ)

問4

- ① _____ 個
- ② _____ 個
- ③ _____ 個
- ④ _____ 個
- ⑤ _____ 円
- ⑥ _____ 円
- ⑦ _____ 円
- ⑧ _____ 円

第2回 原価計算／143回

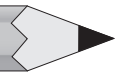
問題 P.150 解答解説 P.195

問1

①	工 程 管 理	検 査	補 修
②	連 産 品	副 産 物	仕 損 品
③	補 修	修 理	
④	補 修	修 理	
⑤		(万円)	
⑥		(%)	

問2

⑦	意 思 決 定	業 績 評 価	予 算 管 理
⑧	原価差異分析	差額原価収益分析	C V P 分 析
⑨		(万円)	
⑩		(万円)	
⑪		(万円)	
⑫		(万円)	
⑬	第 1 案	第 2 案	
⑭		(万円)	



問1

自製部品 A	円
自製部品 B	円
自製部品 C	円

問2

製品 X	円
製品 Y	円
製品 Z	円

問3

買入部品 a	個
買入部品 b	個
買入部品 c	個
買入部品 d	個
買入部品 e	個

問4

部品製造部門必要直接作業時間	時間
製品製造部門必要直接作業時間	時間

問5

買入部品消費量差異	円	(借方 ・ 貸方)
直接労務費作業時間差異	円	(借方 ・ 貸方)
製造間接費能率差異	円	(借方 ・ 貸方)

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問6

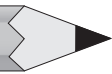
自製部品消費量差異	円	(借方 ・ 貸方)
直接労務費作業時間差異	円	(借方 ・ 貸方)
製造間接費能率差異	円	(借方 ・ 貸方)

差異がある場合、借方・貸方のいずれか適切なほうを○で囲みなさい。

問

ア		(円)
イ		(円)
ウ		(円)
エ		(円)
オ		(円)
カ		(円)
キ		(円)
ク	(△)	(円)
ケ		(円)
コ		(円)
サ		(円)
シ		(円)
ス		(円)
セ		(円)
ソ		(円)
タ		(円)
チ		(年)

a	
b	
c	
d	



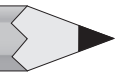
問1

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

問2

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

①		⑪	千円
②		⑫	千円
③		⑬	
④	千円	⑭	
⑤	千円	⑮	千円
⑥	千円	⑯	
⑦		⑰	千円
⑧		⑱	
⑨		⑲	
⑩		⑳	



問1

- | | | |
|------------|-------|---|
| ① 材料仕入高 | _____ | 円 |
| ② 直接材料費 | _____ | 円 |
| ③ 製造間接費 | _____ | 円 |
| ④ 製品完成高 | _____ | 円 |
| ⑤ 売上原価 | _____ | 円 |
| ⑥ 在庫金利 | _____ | 円 |
| ⑦ 営業利益 | _____ | 円 |
| ⑧ 売上高営業利益率 | _____ | % |

問2

- | | | | | | |
|---|-------|-----|----|----------------|----------------|
| ① | 設計 | 適合性 | 安全 | (いずれかを○で囲みなさい) | |
| ② | _____ | | | 円 | |
| ③ | 予防 | 評価 | 失敗 | (いずれかを○で囲みなさい) | |
| ④ | 標準 | 実際 | 機会 | 支出 | (いずれかを○で囲みなさい) |

問3

- | | |
|---|-------|
| ㍿ | _____ |
| ㊱ | _____ |
| ㊲ | _____ |
| ㊳ | _____ |

第1問

問1

円

問2

円

問3

円 / kg

問4

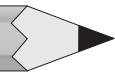
①	
②	
③	
④	

問5

①					(円 / kg)
②					(円)
③	価値移転	未来原価回避能力	負担力主義	未来収益獲得能力	
④	差額	標準	平均	実際	
⑤					(円)
⑥					(円)
⑦					(円)

第2問

①		(%)
②		(千円)
③		(%)
④		(千円)
⑤	X社	Y社
⑥	高い	低い



問1

F02 組への出庫額 _____ 円

問2

間接作業賃金・手待賃金 _____ 円

問3

第1 製造部門補助材料費 _____ 円

第2 製造部門補助材料費 _____ 円

問4

F 02 組の月末仕掛品原価 _____ 円

問5

材 料 (単位：円)

月 初 有 高	()	当 月 消 費	()
当 月 受 入	()	月 末 有 高	()
	()		()

仕 掛 品 (単位：円)

月 初 仕 掛 品	()	製 品	()
当 月 製 造 費 用	()	月 末 仕 掛 品	()
	()		()

第6回 原価計算／157回

問題 P.170 解答解説 P.240

第1問

問1

問2

問3

 千円

問4

問5

問6

 %

問7

第2問

問1

X製品

 円

Y製品

 円

問2

X製品

 個

Y製品

 個

問3

(1) 円

(2) 円

問4

①	直接原価計算	最小自乗法	多重回帰分析	線形計画法
②	非基底変数	独立変数	スラック変数	従属変数
③	貢献利益図表	機能原価分析表	損益分岐図表	シンプレックス表
④	シンプレックス基準	貢献利益	ピボット・エレメント	シャドウ・プライス

問1

購入原料価格差異	円 ()
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ()
	原料歩留差異	円 ()
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ()
	労働能率差異	円 ()
	労働歩留差異	円 ()
変動製造間接費の差異分析	予 算 差 異	円 ()
	能 率 差 異	円 ()
	歩 留 差 異	円 ()
標準変動費差異合計		円 ()

問1，問2の () 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。

「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

実際損益計算書

(単位：円)

売 上 高	()
標 準 変 動 費	()
標 準 貢 献 利 益	()
標 準 変 動 費 差 異	()
実 際 貢 献 利 益	()
固 定 製 造 間 接 費	()
棚 卸 資 産 金 利	()
設 備 金 利	()
販 売 手 数 料	()
固 定 一 般 管 理 費	()
残 余 利 益	()

第7回 原価計算／161回

問題 P.174 解答解説 P.250

第1問

問1 2月の売上原価予算（単位：千円）

直接材料費予算	① ()
直接労務費予算	② ()
製造間接費予算配賦額	③ ()
当月総製造費用	(?)
月初製品有高	(?)
月末製品有高	(?)
売上原価	(?)
予定操業度差異	④ ()
売上原価予算	⑤ ()

問2 () 千円

問3 () 千円

問4 () 千円

問5 () %

第2問

問1 ① ()

② ()

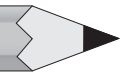
③ ()

問2 ④ ()

⑤ ()

⑥ ()

⑦ ()



第1問

問1

(単位：万円)

① (借方) 間接労務費	② (借方) 間接経費
③ (貸方) 仕掛品	④ (借方) 直接材料費
⑤ (借方) 直接労務費	⑥ (貸方) 製品
⑦ 営業利益	⑧ 税引前利益

問2

(単位：万円)

(借方)	(貸方)
------	------

第2問

①	A		C		D		E							
②	A		C		D		E							
③	H		I		J		K		L					
④	H		I		J		K		L		M		N	
⑤	A		B		F		G							
⑥			O		P									
⑦	H		I		J		K		L					
⑧			O		P									
⑨	H		I		J		K		L		M		N	

第8回 原価計算／137回

問題 P.178 解答解説 P.260

第1問

問1

直接原価計算方式による月次損益計算書

(単位：円)

	第1工程	第2工程	第3工程
売上高	2,560,000	1,230,000	3,640,000
変動売上原価：			
直接材料費	3,200,000	240,000	160,000
直接加工費			
変動間接加工費			
前工程費	0		
計			
次工程振替高			
差引：変動売上原価			
貢献利益			
固定費			
工程利益			1,343,880

問2

	第1工程	第2工程	第3工程
貢献利益率	%	%	%
工程利益率	%	%	%

第2問

	I 欄	II 欄
(1)		
(2)		
(3)		

貸 借 対 照 表

2021 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
()	()	買 掛 金	()
売 掛 金	()	短 期 借 入 金	()
商 品	()	未 払 金	()
貯 蔵 品	()	未 払 費 用	()
前 払 費 用	()	()	()
未 収 収 益	()	()	()
仮 払 金	()	預 り 金	()
貸 倒 引 当 金	()	賞 与 引 当 金	()
II 固 定 資 産		II 固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		社 債	()
建 物	()	()	()
構 築 物	()	営 業 保 証 金	()
工具、器具及び備品	()	負 債 合 計	()
土 地	()	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産		I 株 主 資 本	
借 地 権	()	資 本 金	()
		資 本 剰 余 金	
投 資 そ の 他 の 資 産		資 本 準 備 金	()
()	()	そ の 他 資 本 剰 余 金	()
()	()	利 益 剰 余 金	
破産更生債権等	()	利 益 準 備 金	()
繰 延 税 金 資 産	()	そ の 他 利 益 剰 余 金	
ゴ ル フ 会 員 権	()	繰 越 利 益 剰 余 金	()
貸 倒 引 当 金	()	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	()
資 産 合 計	()	純 資 産 合 計	()
		負 債 及 び 純 資 産 合 計	()

損 益 計 算 書

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		()
売 上 原 価		()
売 上 総 利 益		()
販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	()	
有 価 証 券 利 息	()	
受 取 配 当 金	()	
投資有価証券売却益	()	
()	()	
雑 収 入	()	()
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	()	
社 債 利 息	()	
()	()	
雑 損 失	()	()
経 常 利 益		()
特 別 利 益		
()	()	()
特 別 損 失		
()	()	
貸倒引当金繰入額	()	
ゴルフ会員権評価損	()	()
税引前当期純利益		()
()	()	
()	()	
()	()	()
当 期 純 利 益		()

販売費及び一般管理費の明細 (単位：千円)

科目	金 額
報酬及び給料手当	485,047
賞 与	()
通 信 費	()
租 税 公 課	()
減 価 償 却 費	97,212
支 払 手 数 料	()
貸倒引当金繰入額	()
賞与引当金繰入額	()
退 職 給 付 費 用	()
そ の 他 の 経 費	195,473
合 計	()

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

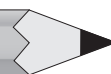
第3回

第4回

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金 預 金		買 掛 金	
未 収 入 金		未 払 法 人 税 等	
契 約 資 産		前 受 賃 貸 収 入	
材 料		預 り 保 証 金	
建 物 D	900,000	リ ー ス 債 務	
備 品 C	150,000	貸 倒 引 当 金	
リ ー ス 資 産		退 職 給 付 引 当 金	
土 地	387,920	工 事 損 失 引 当 金	
繰 延 税 金 資 産		繰 延 税 金 負 債	
そ の 他 の 固 定 資 産	1,300,000	そ の 他 の 負 債	778,000
完成工事原価(材料費)		備品C減価償却累計額	
完成工事原価(労務費)		建物D減価償却累計額	
完成工事原価(外注加工費)		その他の固定資産減価償却累計額	500,000
完成工事原価(経費)		資 本 金	5,000,000
完成工事原価(工事損失引当金繰入)		利 益 準 備 金	299,400
不 動 産 賃 貸 原 価		圧 縮 積 立 金	
給 与 手 当	432,000	繰 越 利 益 剰 余 金	
退 職 給 付 費 用		完 成 工 事 高	
減価償却費(備品C)		不 動 産 賃 貸 収 入	
減価償却費(ソフトウェア)		国 庫 補 助 金 収 入	300,000
販 売 費	135,000		
減価償却費(その他の固定資産)	7,000		
貸 倒 引 当 金 繰 入			
支 払 利 息			
法人税、住民税及び事業税			
法 人 税 等 調 整 額			
合 計		合 計	



問1 X2年度末

- ① P社の連結貸借対照表上のA社株式 百万円
- ② ①のA社株式に含まれているのれん 百万円
- ③ B社株式に含まれているのれん 百万円

問2 X3年度末

- ① 連結修正仕訳においてA社の資本と
相殺されるP社のA社株式に対する投資 百万円
- ② 段階取得に係る差益 百万円
- ③ P社の連結貸借対照表上のA社に係るのれん 百万円
- ④ A社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑤ B社に係る非支配株主持分 百万円
- ⑥ P社の連結貸借対照表上の為替換算調整勘定 百万円

問3

(単位：百万円)

(借)	非支配株主持分当期変動額	()	(貸)	B	社	株	式	()
	()	当期変動額	()					

答案
用紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回

問 1

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

現 金 預 金	961,000	未 払 法 人 税 等	()
製 品 ()		長 期 借 入 金	2,000,000
商 品 ()		退 職 給 付 引 当 金	()
仕 掛 品 ()		企業結合に係る特定勘定	()
A 事 業 部 資 産	()	A事業部資産減価償却累計額	()
B 事 業 部 資 産	()	B事業部資産減価償却累計額	()
C 事 業 部 資 産	()	C事業部資産減価償却累計額	()
共 用 資 産	()	共用資産減価償却累計額	()
の れ ん ()		資 本 金	1,000,000
投 資 有 価 証 券	()	資 本 準 備 金	540,000
繰 延 税 金 資 産	()	利 益 準 備 金	150,000
		繰 越 利 益 剰 余 金	()
		その他有価証券評価差額金	()
	()		()

損 益 計 算 書

(単位：千円)

期首製品棚卸高	40,000	A 事 業 部 売 上 高	1,800,000
期首商品棚卸高	160,000	B 事 業 部 売 上 高	2,800,000
当期商品仕入高	3,900,000	C 事 業 部 売 上 高	2,000,000
当期製品製造原価 ()		期 末 製 品 棚 卸 高	()
棚 卸 減 耗 損 ()		期 末 商 品 棚 卸 高	()
棚卸資産評価損 ()		投資有価証券売却益	90,000
販 売 費	100,000	企業結合に係る特定勘定取崩益	()
労 務 費 ()		法 人 税 等 調 整 額	()
退 職 給 付 費 用 ()			
減 価 償 却 費 ()			
の れ ん 償 却 額 ()			
そ の 他 経 費 ()			
支 払 利 息	100,000		
減 損 損 失 ()			
事 業 整 理 損 失 ()			
法人税、住民税及び事業税	()		
当 期 純 利 益	()		
	()		()

問2

修正案に基づいた場合の減損損失 千円

修正案に基づいた場合のB事業部資産
の減損処理後の帳簿価額 千円

問3

(1)	(2)	(3)	(4)

問4

(5)	(6)

問5

(単位：千円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

答 案
用 紙

税
理
士

会
計
士

第1回

第2回

第3回

第4回